

**単元名** 友達にインタビューしよう「質問」 (第1学年) 全4時間計画  
**単元のねらい**

質問を効果的に使いインタビューする活動を通して、相手が言いたいことを確かめたり、自分が知りたい情報を聞き出したりすることができるようにする。

**単元構想の意図**

本単元では、質問を効果的に使い相手が言いたいことを確かめたり、自分が知りたい情報を聞き出したりできるようにすることを目指します。つかむ過程では、実生活で質問をしたり答えたりした体験を振り返り、自分たちが困ったこと等を自覚することで、課題解決の必要感をもたせるようにします。追究する過程では、実際に相手にインタビューする活動を通して、質問を効果的に使うために必要なことを対話的に交流させ、相手意識をもつことや場に応じて修正することの必要性を実感させます。まとめる過程では、「学習前よりできそうだ」「できることがありそうだ」という思いを自分の言葉でまとめるなどして自己の成長や変容を自覚させ、今後の日常生活や他の学習への意欲が持続するように構成しました。

過程

つかむ(1)

**主な学習活動**

**1. 単元の課題を把握する**

- 質問をしたりされたりした体験を振り返る。
- 課題をつかむ。

質問を効果的に使い、今より友達のことをよく知るためのインタビューをしよう。

- 教師が例示した質問をし合い、気付いたことを共有する。

【質問の特徴】(板書より抜粋)  
 ・誰でも答えやすい  
 ・話のきっかけになる  
 ・どンドン聞ける  
 ・その人らしさが出る・深いことまで聞ける  
 ・話題が次につながるやすい  
 ・答えづらい(難しい)こともある

**課題解決の必要感や学習の見通しをもたせるための工夫**

身に付けさせたい力に関わる実生活での体験を振り返らせ、自分たちが苦手に感じていたり困ったりしていること等を自覚させることにより、学習することの必要感をもたせるようにする。また、学習した後に自己の成長や変容について振り返るということを明確に示し、学習の見通しをもたせるようにする。

**課題解決への関心・意欲をもたせるための工夫**

互いに質問をし合い、その答えを整理したり分類したりすることで、質問の種類や特徴について気付かせるようにする。また、本時の学びが次時につながっていくことを押さえ、一単位時間ごとの積み重ねの大切さに気付かせたり、学習への関心・意欲が持続するようにする。

追究する(2)

**2. 課題を追究する**

- 教師が示す質問の仕方のモデルを見て、質問を効果的に使うことについて考える。

- 質問の種類や順番を工夫して友達に質問したいことを考える。

- 実際に質問して効果的であるかどうか確かめたり、互いに評価したりする。

順番	1	2	3	4
AかBか	A	B	B	A
○質問内容についての評価 (△モト)	話を広げていけない質問。△	かぶりやすいかもしれない。△	いい話の広げ方が上手。△	相手がよく伝わっていない。△

※グループの役割分担 【質問メモ】  
 質問者 1人  
 回答者 1人  
 観察者 1～2人  
 A: 答えを定める問い  
 B: 答えを広げる問い

【モデルの例と生徒の気づき】  
 ○答えが限定的になる質問の連続  
 ・話が深まらない、はずまない  
 ・質問の目的が分からない  
 ○相手の答えや思いと関係のない質問  
 ・相手の手を無視するようでした  
 ・コミュニケーションになっていない  
 ○順番に違和感を感じる質問  
 ・相手が戸惑ってしまふ  
 ・相手が答えづらいう

①楽しい時間はいつかありますか?  
 ②なぜですか?  
 ③なぜですか?  
 ④楽しい時間はいつかありますか?  
 ⑤一番好きな(楽しい)時間を教えてください。  
 ※話が長く、くどい。Uhhhh  
 ☆(1)「楽しい時間はいつかありますか?」  
 (2)「なぜですか?」  
 (3)「なぜですか?」  
 (4)「楽しい時間はいつかありますか?」  
 (5)「一番好きな(楽しい)時間を教えてください。」  
 ○あなたは楽しい時間や好きな時間は学校の時と家でどのくらいありますか?  
 ○あなたは楽しい時間や好きな時間はいつかありますか?

【前時の学び】  
 ・相手の反応によって質問の種類や順番を変えていく  
 ・相手の答えをいくつか予想して、次の質問を考えておく(予備の質問)  
 ・答えを定める質問と広げる質問のバランスを考える  
 ・自分の考えを言うと話が広がる

**生徒の気づきをめあてにつなげるための工夫**

教師が質問の仕方のモデルを示すことにより、相手の考えや情報を引き出すことができる質問を効果的に使うために必要なことに気付かせる。また、生徒の気づきと本時のめあてのつながりを確認することで、目的意欲をもって主体的に学習に取り組めるようにする。

**効果的な質問を考える練習の場の設定**

示されたモデルを見て気付いたことを踏まえ、友達の考えや情報を聞き出す質問を考えさせる。種類が偏っていたり順番に違和感があったりする質問については指摘し、生徒自身が気付き修正できるようにする。

**対話的に交流し、気づきを整理させる場の工夫**

全員に役割を分担することで、活動に主体的に取り組めるようにする。また、観察者には質問に対する評価をさせ、質問者にアドバイスをさせることで、対話的な交流の場となるようにする。同時に回答者にも感想などを伝えさせる。さらに、活動を通して気付いたことをグループや全体で整理し共有する場を設ける。

**前時の学びを生かした学習活動**

前時までに学んだことを踏まえて再度活動に取り組ませることで、質問の種類や順番の工夫、相手意識、状況判断等の大切さを実感的に捉えさせる。また、前時との比較をさせることで、よくできた点や課題点等について振り返らせる。

**学んだことの一一般化・学びの自覚・今後へのつながり**

本単元の学習を通して学んだことが、どのような場面で生かせるかについて考えさせ一般化を図ることで、学びの広がりを実感させる。また、「つかむ過程」で感じた課題解決の必要感を想起させ、「学習前よりできそうだ」「できることがありそうだ」という思いを自分の言葉で表現させる。学んだことや自己の成長、変容について自覚させ、今後の日常生活や他の学習に生かしていこうとする意欲が持続するようにする。

まとめる(1)

**3. 単元を振り返る**

- 単元全体を振り返り、学んだことをまとめたり自己の成長や変容を自覚したりする。

- 本単元での学びを生かせる場面について、意見交流をする。

- 今後に生かしたいことを自分の言葉でまとめる。

【ワークシートより】  
 ・前より相手に合わせて質問でき、いろいろ聞き出せた。種類だけでなく順番や質問の変更が必要だった。  
 ・生活の中で質問することは多いから、これから生かせると思う。  
 ・質問に困ったらこの授業を思い出す。

中学校教諭 見城 朋子  
 初等・中等教育  
 他教科担任 友成 友成  
 職場訪問

指導例：『質問』（第1学年 第1時）

- 1 教材文やモデル等と出会い、単元の課題を設定する。
- 実生活で質問をしたり答えたりした体験を振り返る。
  - T:質問するとき、困ることはない？
  - S:質問について意識したことはないな。
  - S:何を聞けばよいか分からないことがある。
  - S:質問できて次が続かない。話が広がらない。
  - 質問を効果的に使い、相手の考えを引き出す力を身に付けていく学習であることを知る。

単元の課題 質問を効果的に使い、今より友達のことをよく知るためのインタビューをしよう。

2 めあてをつかむ。

めあて 例示した質問をし合い、気付いたことを交流しよう。

○教師が用意した質問をし合って答えを聞く活動を通して、質問には種類や特徴があることに気付く。

- S:答えの数が少ない質問と、多い質問がある。
- T:特徴はどんな点だろうか？

【質問と答え】

【質問の特徴（板書より）】

- 誰でも答えやすい・話のきつかけになる
- なんとなく聞ける など
- その人らしさが分かる・その人を深く知れる・話題が次につながりやすい・答えづらい（難しい）こともある など

3 学習の見通しをもつ。

○本時の学びを生かして、課題の解決を目指すことを確認する。

- T:質問の種類や特徴を知っただけでうまくインタビューできそう？
- S:種類や特徴を生かして、実際に質問を考えてみたい。
- S:練習が必要だと思う。

学習計画

1. 単元のめあてをつかむ。
2. 種類や順番を工夫して質問を考え、質問し合う。
3. 質問を効果的に使い、今より友達のことを知るためのインタビューをする。
4. 単元の振り返りをする。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

○どのようなことが分かったか、今後の活動への思い等を書く。

☆質問の種類や特徴が分かった。今までは意識していなかったけれど、分かったことを生かして質問を考えて、友達のことをいろいろ知りたい。

必要感のある学習活動にするための導入の工夫

- 実生活での体験を振り返らせることにより、自分たちが困っていること等を自覚し、単元の課題解決の必要感をもつことができるようにする。

学習意欲をもたせるための工夫

- 質問をし合い答えを聞き合うという体験を通して気付いたことと、課題との関連を整理し、学んでいくことの意義を捉えられるようにする。
- 自分たちの日常生活と密接に関わっている課題であることに気付かせ、興味・関心を高める。

学習の見通しをもたせるための工夫

- 活動を楽しむだけに終わらないように、活動の目的を明確に捉えられるようにする。
- ワークシートに学習計画を明記し、本時の学習がどのように次時につながっていくのか意識できるようにする。

課題解決への意欲を高めさせるための振り返り

- 学習に対する思いを記述させることで、本時の学びを次時にどのように生かし、何をしたいかを自覚させる。
- 個人の振り返りを全体場で共有し、協力してよりよい活動にしていこうとする意欲を高める。

指導例：『質問』（第1学年 第2時）

1 本時のめあてをつかむ。

- 前時に学習したことを振り返る。
- 教師が示すモデルを見て、質問を効果的に使うことについて考える。
- S：話が深まらない、目的が分からない。(a)
- S：相手の言うことを無視しているような質問はよくない。(b)
- S：順番も工夫しないと相手が答えづらいし、不自然。(c)

【モデル例】

- a：答えが限定的になる質問の連続
- b：相手の答えや思いと関係のない質問
- c：聞く順番に違和感を感じる質問

めあて 種類や順番などを工夫して質問を考え、互いに聞き合ってみよう。

2 課題を追究するために個で考える。

- 質問の種類や順番を工夫して、テーマ「楽しい時間・好きな時間」について友達に質問したいことを考える。
- S：初めは相手が答えやすい質問にしよう。
- T：その話を広げていくためには何を聞く？
- S：「なぜ」って聞けば詳しく知ることができると思う。
- T：「好きな時間」が「ない」って言われたらどうする？
- S：他の聞き方をするのはどうかな？(d)
- S：例を挙げて選んでもらうようにすれば相手は答えやすいと思う。(e)

- 【ワークシートより】
- d：リラックスする（ホッとする）時間はありますか？
  - e：学校での時間が好きですか？家でどの時間が好きですか？

3 グループで、課題を追究するための方法を共有し、焦点化を図る。

- 個々に考えた質問をすることによって、どのような答えが聞き出せるか試し、互いに評価する。
- T：観察者は気付いたことを質問者に助言しよう。
- <観察者から>
- S：相手に質問の意味が通じないときは、言葉を言い替えるといいよ。
- S：意外な答えのときに、相手に合わせて臨機応変に対応していてよかった。
- S：自分の考えを言ってから聞くと、相手は答えやすそうだったよ。
- S：話がぶつ切れになっていたから、つなげるような質問があるとよい。

【グループ役割分担】

- ①質問者1名
- ②回答者1名
- ③観察者1～2名
- ※質問3分・アドバイス2分を目安に役割をローテーションして行う。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

- 本時の活動を通して、「できたこと」「難しかったこと」「新たな課題」などについて振り返り、ワークシートに記入する。
- ☆予想外の答えが出たとき、相手に合わせて質問を替えることが難しかった。次はもっとうまくできるよう頑張りたい。
- ☆順番は事前に考えておいたけど、その場で替えたり質問を追加したりすることが必要だ。
- ☆相手の話をよく聞かないと、次の質問につなげられないと分かった。

生徒の気付きをめあてにつなげるための工夫

- 何を工夫すると、相手の考えや情報を引き出すことができる効果的な質問になるか、教師の提示するモデルによって気付かせ、めあてにつなげるようにする。

相手・目的・場面を踏まえた質問内容の検討

- 友達の情報を引き出すための質問を、「種類」や「特徴」等の既習事項を踏まえて考えさせる。
- 状況や目的に応じて質問を取捨選択することや、相手意識をもつことが大切なことを押さえる。

次時に生かすための練習の場の設定

- 質問の種類や順番を工夫して考えた自分の質問が、効果的なものになっているか確かめさせる。
- 観察者に質問の内容や、質問の順番等を客観的に評価させ、よかったことやうまくいかなかったこと等について交流し、次時に生かせるようにする。

課題意識や次時への意欲を高めるための振り返り

- 効果的な質問をするためには、相手意識をもつことが大切だということを再度押さえる。
- 質問し合う活動を通して気付いたよかった点や、質問を効果的に使うことの難しさを実感させ、次時に生かそうとする意欲を高める。

指導例：『質問』（第1学年 第4時）

1 本時のめあてをつかむ。

○単元全体を振り返ることが本時のめあてであることをつかむ。

めあて 単元の学習を通して、学んだことや今後に生かせそうなことについて考えよう。

2 単元で学んだことを確認する。

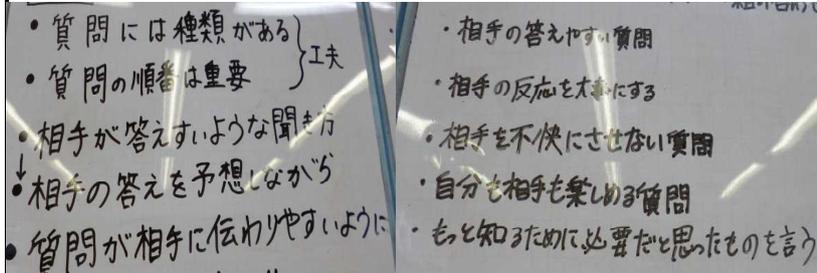
○学習計画表や各時の個々の記述等を振り返り、学習してきたことを確認し、自己の成長や変容を自覚する。(個人→班→全体)

T:何のために学習してきたの?

S:効果的に質問をして、相手から話を聞き出す力を身に付けるため。

S:学習を通して分かったことを整理してみよう。

【グループごとのまとめ】



S:質問の種類を組み合わせたり、相手の反応を見て順番を替えたりして質問をしたら、一回目より二回目の方が友達からいろいろな話を聞き出せた。

S:相手の答えを幾つか予想して次の質問を考えておくと、話が止まらずに済んだ。

S:相手が答えづらそうなときは、自分が先に考えを言うと話を聞き出しやすくなったと思った。

3 学んだことを一般化して理解する。

○本単元の学習を通して学んだことが、どのような場面で生かせるかについて考える。

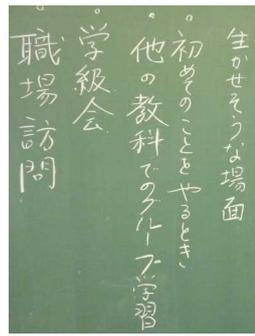
S:「相手」がポイント。コミュニケーションをとるときは、全部生かせる。

T:みんなの困っていた点は解決できたかな?

S:順番や種類を工夫して質問すれば、相手が考えやすくなって話題が広がりそう。

S:いろいろな質問の仕方を学んだから、何も聞けないということはなくなると思う。

【学びを生かせる場面】



4 単元全体の振り返りをする。

○本単元での学びを自分の言葉でまとめさせるとともに、今後どのように生かしていきたいかを書く。

S:相手が話しやすくなって、いろいろ聞き出せる力を身に付けたい。

S:生活の中で質問をすることは多いから、いろいろ役に立つと思う。前より相手のことを考えることができた。

S:状況を判断し相手のことを考えながら質問するのは難しいけれど、話を広げられそうなので意識していきたい。

学びの自覚を促す工夫

○どのようなことを学んだのかについて生徒自身が自覚できるように、学習計画表に沿って全体で振り返る。

○一単位時間ごとのつながりや、学びの積み重ねを実感させ、自己の成長や変容を自覚させるようにする。

学びを広げる場の設定

○全員が発言できるように、個人で振り返る時間を確保してから班ごとの話し合いをし、互いのよさや頑張りを認め合うような発言を促す。

○ホワイトボードに考えをまとめ、全体で共有することで、学びや気づき、その広がりを実感しやすくする。

学んだことを一般化するための工夫

○質問する場面を想起させ、この学習での学びを実際に生かせそうな場面を考えさせる。

○一般化とともに、今後の学習への意欲を高められるように、「つかむ過程」(第1時)で感じた課題解決の必要感を想起させる。

今後の意欲につながる単元全体の振り返り

○どのようなことができそうか、どのような力を更に伸ばしていきたいか、自分の言葉で表現させる。

○「学習前よりできそうだ」「できることがありそうだ」という思いも大切にし、学びを生かそうとする意欲を持続できるようにする。

# 国語科学習指導案

平成30年6月 第1学年 指導者 見城 朋子

## I 単元名 友達にインタビューしよう「質問」

## II 学習指導要領上の位置付け

(1) 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。

【知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項ア】

(2) 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。

【思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くことエ】

(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

## III 目 標

質問を効果的に使いインタビューする活動を通して、次の指導事項が身に付けられるようにする。

(1) 相手の話の内容を捉え、状況に応じて、更に必要な情報を的確に聞き出すための質問をすること。

【知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項ア】

(2) 質問を効果的に使い、相手が言いたいことを確かめたり、自分が知りたい情報を聞き出したりすること。

【思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くことエ】

(3) 相手の考えを引き出すために質問することのよさに気づき、様々な場面に生かそうとすること。

【学びに向かう力、人間性等】

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開（1／4）

- ねらい 例示した質問をし合う活動を通して、質問の種類の違いや特徴に気付いたり課題に関心をもったりすることができるようにする。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<p>1 教材文やモデル等と出会い、単元の課題を設定する。（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○実生活で質問をしたりされたりした体験を想起させ、学習に対する興味・関心をもたせる。</li><li>○質問をすることの難しさを感じている生徒のつぶやきを取り上げ、学習に対する必要感をもたせる。</li><li>○質問を効果的に使い、相手の考えを引き出す力を身に付けていく学習であることを知らせる。</li></ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>単元の課題 質問を効果的に使い、今より友達のことをよく知るためのインタビューをしよう。</p></div>			
<p>2 めあてをつかむ。（30分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>めあて 例示した質問をし合い、気付いたことを交流しよう。</p></div> <ul style="list-style-type: none"><li>○例示した質問をし合い、その答えを分類することによって、質問には種類や特徴があることに気付かせる。</li><li>○質問の種類にはどのようなものがあって、どのような特徴があるのかななどを、生徒の言葉を基に整理する。</li><li>○本時の学びが今後の日常生活にも生かせそうだということに気づき、単元の学習に関心をもてるようにする。</li></ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>質問には種類や特徴があることに気付いたり、効果的な質問を考えて友達にインタビューをすることに関心をもったりしている。〈ワークシート・発言・観察（3）〉</p></div>			
<p>3 学習の見通しをもつ。（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○学習計画表を見ながら、どのような過程で学習を進めていくかイメージできるようにする。</li></ul>			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○単元の課題を全体で確認し、分かったことや活動への意気込み等を記述・発言するよう促す。</li><li>☆質問には幾つか種類があって、それをうまく使い、友達のことを知るインタビューをするのだ、ということが分かった。難しそうだけれど、いろいろ聞き出せるよう頑張りたい。</li><li>☆質問によって答えが決まってくるものや、いろいろな答えが出るものがあった。今まで意識していなかったけれど、違いがあるのだと気付いた。</li></ul>			

## V 本時の展開 (2/4)

1 ねらい 質問の種類や順番などを工夫して互いに聞き合う活動を通して、その効果を実感できるようにする。

### 2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
<p>1 本時のめあてをつかむ。(10分)</p> <p>○本時の学習が、次時につながるものであるということを意識して取り組ませる。</p> <p>○一単位時間ごとの積み重ねを意識できるように、前時に学習したことを想起させる。</p> <p>○質問の種類や順番等の工夫が必要だということに、生徒自身が気付くことができるような質問のモデルを示す。</p>			
<p>めあて 種類や順番等を工夫して質問を考え、互いに聞き合ってみよう。</p>			
<p>2 課題を追究するために個で考える。(13分)</p> <p>○質問の種類や順番を工夫することを意識して、友達に質問したいことを考えさせる。</p> <p>○前時に捉えたキーワード等を参考にして考えさせ、どの生徒も質問を考えることができるようにする。</p>			
<p>3 グループで課題を追究するための方法を共有し、焦点化を図る。(22分)</p> <p>○全員が主体的に取り組めるように、グループで質問者・回答者・観察者の役割分担をし、交替で質問し合う場を設定する。</p> <p>○観察者には質問の種類やその効果をチェックさせ、質問者が次時に生かせるように、気付いたことをフィードバックさせる。</p> <p>○状況によって、質問を替えたり追加したりすることも必要だということに気付かせる。</p>			
<p>質問の種類や順番等を工夫して考えることが、相手の考えを聞き出すために必要だということを記述したり発言したりしている。&lt;ワークシート・発言・観察(1)&gt;</p>			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)</p> <p>○本時の学習を通して学んだことを記述させ、発言するよう促す。</p> <p>☆実際にしてみたら、確かに相手が答えやすい質問や答えにくい質問があることが分かった。</p> <p>☆質問の順番まで考えるのは難しかった。相手のことを詳しく知ることができるように工夫したい。</p> <p>☆質問の種類だけでなく順番も大切だと分かった。両方のバランスにも気を付けて考えたい。</p> <p>☆予想外の答えが返ってくると困ったので、初めに考えておいた方がよいと思った。</p>			

## V 本時の展開（4／4）

- ねらい 単元の学習を振り返る活動を通して学びを自覚させ、様々な場面に生かしていこうとする意欲を高める。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<b>1 本時のめあてをつかむ。（5分）</b> ○単元全体を振り返ることが本時のめあてであることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて 単元の学習を通して学んだことや、今後に生かせそうなことについて考えよう。</div>			
<b>2 単元で学んだことを確認する。（20分）</b> ○質問は何のためにするのか、ということを確認する。 ○質問には種類や順番の工夫だけでなく、相手の答えに応じた質問をすることの大切さにも気付かせる。 ○本単元の学習で「何を学んだか」「何を通して何が分かったか」などについて全体で共有することで、学習前と後での自己の変容について気付かせる。			
<b>3 学んだことを一般化して理解する。（15分）</b> ○本単元の学習を通して学んだことが、どのような場面で生かせるかについて考えさせることで、学びの広がりを実感させる。 ○質問をすることに関する自分たちの課題を解決できそうだということを自覚させ、様々な場面に生かしていこうとする意欲を高めさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;">学習したことが日常生活や他の学習場面に生かせることに気付き、活用していこうという思いを記述したり発言したりしている。＜ワークシート・発言・観察（3）＞</div>			
<b>4 単元全体の振り返りをする。（10分）</b> ○一般化したことを、自分の言葉でまとめさせる。 ☆質問の種類を使い分けると、相手のいろいろな考えを聞き出せた。他の授業の話合いで生かせると思う。 ☆教えてほしいことを先生に質問するときにも役立つかもしれない。 ☆質問したときに相手の話をよく聞くことも、質問力を上げるためには大切だと分かった。 ☆職場訪問で職場の人にインタビューするので、この学習を生かしていきたい。			

目標	<p>質問を効果的に使いインタビューする活動を通して、次の指導事項が身に付けられるようにする。</p> <p>(1) 相手の話の内容を捉え、状況に応じて、更に必要な情報を的確に聞き出すための質問をすること。 【知識及び技能(1)言葉の特徴や使い方に関する事項ア】</p> <p>(2) 質問を効果的に使い、相手が言いたいことを確かめたり、自分が知りたい情報を聞き出したりすること。 【思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くことエ】</p> <p>(3) 相手の考えを引き出すために質問することのよさに気づき、様々な場面に生かそうとすること。 【学びに向かう力、人間性等】</p>		
評価規準	<p>(1) 言葉が果たす多様な働きや特徴を理解し、話の内容や状況に応じた効果的な質問について考えている。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)】</p> <p>(2) 話の内容や状況に応じた質問を効果的に使い、必要な情報を聞き出している。 【C聞くことエ】</p> <p>(3) 言葉がもつ価値に気づき、聞き手としての立場や聞く目的を意識して質問しようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】</p>		
過程	時間	☆振り返り(意識)	◇評価項目 <方法(観点)>
つかむ	<p>○ねらい めあて</p> <p>○例示した質問をし合う活動を通して、質問の種類の違いや特徴に気付いたり課題に関心をもったりすることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">質問を効果的に使い、今より友達のことをよく知るためのインタビューをしよう。</div> <p>1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">例示した質問をし合い、気付いたことを交流しよう。</div>	<p>☆質問には幾つか種類があって、それをうまく使い、友達のことを知るインタビューをするのだ、ということが分かった。難しそうだけれど、いろいろ聞き出せるよう頑張りたい。</p> <p>☆質問によって答えが決まってくるものや、いろいろな答えが出るものがあった。今まで意識していなかったけれど、違いがあるのだと気付いた。</p>	<p>◇質問には種類や特徴があることに気付いたり、効果的な質問を考えて友達にインタビューをすることに興味をもったりしている。</p> <p>&lt;ワークシート・発言・観察(3)&gt;</p>
追究する	<p>1</p> <p>○質問の種類や順番等を工夫して互いに聞き合う活動を通して、その効果を実感できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">種類や順番等を工夫して質問を考え、互いに聞き合ってみよう。</div> <p>1</p> <p>○前時までの学習を生かして、友達にインタビューをする活動を通して、質問力によって相手の考えを引き出すことができることを実感できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">質問を効果的に使い、今より友達のことをよく知るためのインタビューをしよう。</div>	<p>☆実際に質問してみたら、確かに相手が答えやすい質問や答えにくい質問があることが分かった。</p> <p>☆質問の順番まで考えるのは難しかった。相手のことを詳しく知ることができるように工夫したい。</p> <p>☆質問の種類だけでなく順番も大切だと分かった。両方のバランスにも気を付けて考えたい。</p> <p>☆予想外の答えが返ってくると困ったので、初めに考えておいた方がよいと思った。</p> <p>☆質問の種類や順番を考えて質問したら、友達のいろいろなことが聞き出せた。</p> <p>☆どういう順番で質問するかを考えてインタビューすることも大切だと思った。</p> <p>☆相手の答えによって質問を替えたり付け足しをしたりするのは難しいが、できると話が広げられる。</p>	<p>☆質問の種類や順番等を工夫して考えることが、相手の考えを聞き出すために必要だということを記述したり発言したりしている。</p> <p>&lt;ワークシート・発言・観察(1)&gt;</p> <p>◇質問を効果的に使うことが、相手の考えを引き出すために役立っているということを記述したり発言したりしている。</p> <p>&lt;ワークシート・発言・観察(2)&gt;</p>
まとめる	<p>1</p> <p>○単元の学習を振り返る活動を通して学びを自覚させ、様々な場面に生かしていこうとする意欲を高める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">単元の学習を通して学んだことや、今後生かそうなことについて考えよう。</div>	<p>☆質問の種類を使い分けると、相手のいろいろな考えを聞き出せた。他の授業の話合いで生かせると思う。</p> <p>☆先生に教えてほしいことを質問するときにも役立つかもしれない。</p> <p>☆質問したときに相手の話をよく聞くことも、質問力を上げるためには大切だと分かった。</p> <p>☆職場訪問で職場の人にインタビューするので、この学習を生かしていきたい。</p>	<p>◇学習したことが日常生活やほかの学習場面に生かせることに気づき、活用していこうという思いを記述したり発言したりしている。</p> <p>&lt;ワークシート・発言・観察(3)&gt;</p>